

第15回 移動容器規格委員会 議事録

I. 日 時：平成24年7月2日 14:00～15:45

II. 場 所：高圧ガス保安協会 第3会議室

III. 出席者（敬称略・順不同）

委員長：小川

副委員長：吉川

委員：川原、大谷、祖父江、小泉、石田、児玉、久保田、農頭、阿部、正路

K H K：鈴木、森永、稲村、小山田、草野、梶山

IV. 議 題：

(1) 前回議事録(案)の確認・承認

(2) 技術基準整備3ヶ年計画（平成24～26年度）(案) について

(3) 空気呼吸器用継目なし容器再検査基準 KHKS0151 及びアルミニウム合金製一般継目なし容器再検査基準 KHKS0152 の改正（軽微な変更）について（報告）

(4) 容器プロトタイプ試験基準 KHKS0123（2008）の改正について

(5) 液化炭酸ガス容器用安全弁に関する基準KHKS0127（2007）の定期見直しについて

(6) 溶接容器溶接補修基準 KHKS0180（2008）の定期見直しについて

(7) その他

V. 配付資料

資料15-1 移動容器規格委員会委員名簿

資料15-2 第14回移動容器規格委員会議事録（案）

資料15-3 技術基準整備3ヶ年計画（平成24～26年度）(案)

資料15-4-1 空気呼吸器用継目なし容器再検査基準 KHKS0151（2007）の改正について（報告）

資料15-4-2 アルミニウム合金製一般継目なし容器再検査基準 KHKS0152（2007）の改正について（報告）

資料15-5-1 容器プロトタイプ試験基準 KHKS0123（2008）の改正について

資料15-5-2 容器プロトタイプ試験基準 KHKS0123 改正案(新旧対照表)

資料15-6 液化炭酸ガス容器用安全弁に関する基準 KHKS0127（2007）の定期見直しについて

資料15-7 溶接容器溶接補修基準 KHKS0180（2008）の定期見直しについて

参考資料1 容器プロトタイプ試験基準 KHKS0123（2008）

参考資料2 液化炭酸ガス容器用安全弁に関する基準 KHKS0127（2007）

参考資料3 溶接容器溶接補修基準 KHKS0180（2008）

VI. 議事概要

1. 事務局挨拶等

開会挨拶の後、事務局より資料15-1に基づき以下の紹介等を行った。

- ① 欠席委員（石崎委員、北野委員及び宮崎委員）の報告
- ② 新しく就任した委員2名（久保田委員及び正路委員）の紹介
- ③ 12名の出席があり、規格委員会規程に定める定足数8名以上を満足し、委員会は成立
- ④ 小川委員が委員長に互選され、吉川委員が副委員長に指名された。

2. 前回議事録(案)の確認・承認

資料15-2に基づき「第14回移動容器規格委員会議事録(案)」の採決を実施した。
出席委員の過半数（7名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

3. 技術基準整備3ヶ年計画（平成24～26年度）(案) について

事務局より、資料15-3に基づき平成24年度から26年度における移動容器規格委員会の技術基準整備計画について説明した。

平成27年度は改正等から5年となる規格が多いので作業量の平準化を目的として70MPa圧縮水素自動車燃料装置用容器の基準（KHKS0128）及び高圧ガスタンクローリ再検査基準（KHKS0150）の見直しについては、1年前倒しして平成26年度に行うこととする。
当該計画（案）の採決を実施し、出席委員の過半数（7名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

4. 空気呼吸器用継目なし容器再検査基準 KHKS0151 及びアルミニウム合金製

一般継目なし容器再検査基準 KHKS0152 の改正（軽微な変更）について（報告）

(1) 空気呼吸器用継目なし容器再検査基準（KHKS0151）

事務局より、資料15-4-1に基づき「空気呼吸器用継目なし容器再検査基準（KHKS0151）」について、関係省令・告示の改正に伴い容器の表示（塗色）及び引用JIS規格の年度版を最新のものとする「軽微な変更」を行うため平成24年4月13日付けでKHKS0151(2012)として改正を行ったことを報告した。

(2) アルミニウム合金製一般継目なし容器再検査基準（KHKS0152）

事務局より、資料15-4-2に基づき「アルミニウム合金製一般継目なし容器再検査基準（KHKS0152）」について、関係告示の改正に伴い引用JIS規格の年度版を最新のものとする「軽微な変更」を行うため平成24年4月13日付けでKHKS0152(2012)として改正を行ったことを報告した。

5. 容器プロトタイプ試験基準 KHKS0123(2008)の改正について

(1) 事務局より、資料15-5-1、資料15-5-2及び参考資料1に基づき、容器プロトタイプ試験基準 KHKS0123(2008)の見直し案を説明した。主な質疑事項は以下のとおり。

1) 引用規格（資料15-5-2 箇条2）

引用JIS規格の年度版は、箇条2の「引用規格」で指定し、その他の本文中では年度版の表記が削除されているが、他の基準についても同様の様式に統一するのか。

→移動容器規格委員会ですべての基準については、改正を行う際に統一していく予

定である。

2) 継目なし容器プロトタイプ試験基準（資料15-5-2 箇条4）

①長期負荷割れ試験における試験方法（「4.14.3試験方法」）において、応力拡大係数の単位がMPa mであるが、 $MPa\sqrt{m}$ の間違いであるので修正すること。

②同「4.14.3試験方法」において、平均耐力の単位がMPaとなっているが、圧力容器等の規格では、慣例として圧力の単位にあつてはMPa、許容応力等の単位にあつては N/mm^2 を用いている。

→他の規格（JISや例示基準等）と整合させる。

3) 溶接容器プロトタイプ試験基準（資料15-5-2 箇条5）

①「5.2肉厚の表7」において、表の区分（ステンレス鋼及びステンレス鋼以外の鋼）と「ぜい性破壊を起こさない性質を有する鋼」との関係がわかりにくい。

→各規定において矛盾がないか事務局にて確認し、必要に応じ修正案を提示する。

②「5.2肉厚の表7」における r の記号は、他の箇所と同様にイタリック体に修正すること。

(2) (1)を踏まえ、今回の審議で挙げられた検討事項を事務局で検討及び修正案を提示した後、容器プロトタイプ試験基準改正に係る書面投票の実施、書面投票実施期間（15日間）及びパブリックコメント実施期間（1ヶ月）について付帯条件を付して採決を実施したところ、出席委員の過半数（7名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

【付帯条件】

書面投票等で修正が必要となった場合は、メールにて審議を行い再度書面投票（15日間）を実施する。委員会を開催するかの判断は委員長に一任する。

6. 液化炭酸ガス容器用安全弁に関する基準KHKS0127(2007)の定期見直しについて

事務局より、資料15-6及び参考資料2に基づき、液化炭酸ガス容器用安全弁に関する基準KHKS0127(2007)の見直し方針について、事務局案として「確認」としたい旨を説明した。

特に質疑応答はなかったため、今回の見直しを「確認」として終了することについて裁決を実施したところ、出席委員の過半数（7名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

7. 溶接容器溶接補修基準 KHKS0180(2008)の定期見直しについて

事務局より、資料15-7及び参考資料3に基づき、溶接容器溶接補修基準 KHKS0180(2008)の見直し方針について、事務局案として「確認」としたい旨を説明した。

特に質疑応答はなかったため、今回の見直しを「確認」として終了することについて裁決を実施したところ、出席委員の過半数（7名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

8. その他

次回委員会の開催日は未定のため、開催する場合は別途調整を行う。

以上